

“伝える”ことを通じて、 多様で豊かな 社会づくりに貢献したい。

テレビ東京グループは、「経済報道・健全なエンターテインメント・アニメ」などの番組、コンテンツを中心に、「頑張る人や企業」「人の絆、家族の絆」「地域そのものの魅力」「多様な文化の“芽”を育てる」といったことを大切にしながら個性と独自性を培ってまいりました。

これからも“テレ東DNA”を力の源泉に番組・コンテンツづくりにまい進し、豊かな社会の実現と文化の創造につなげてまいります。

CONTENTS

トップメッセージ	02
特集 テレビ東京の未来に向けて新体制発足	03
テレビ東京グループ事業報告	07
2019年9月期 業績報告	15
CSRレポート	17
テレビ東京グループ・TXNネットワーク	18

テレビ東京グループは未来に向けて 視聴者の皆様に豊かな時間をお届けしてまいります。



株式会社テレビ東京ホールディングス
代表取締役社長

小 孫 茂

皆様におかれましては、平素よりテレビ東京グループに対して格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

テレビ東京グループの2019年度第2四半期は、厳しい広告市況により放送部門の売り上げが足踏みいたしました。ライツ部門では、アニメ「NARUTO」「BORUTO」などの海外での配信や商品化の拡大が収益に寄与しましたが、放送部門を補うには至らず減収減益となりました。

中間配当につきましては、前年と同じく一株につき15円とさせていただきますをご報告いたします。

放送ビジネスは、テクノロジーの進化と視聴スタイルの多様化により従来のビジネスモデルが大きく変わろうとしています。テレビ東京グループは次代を担うコンテンツ制作、発行者であり続けるために、「地上波放送、BS放送、インターネット配信の一体的な運用」を中期経営計画の柱にしております。放送部門の急回復が期待しにくい中、ライツ部門のさらなる収益強化を目指すべく、全社的な構造転換と戦略的な先行投資を進めてまいります。

その試みの一つが、メディアプラットフォーム「note」を運営するピースオブケイク社との資本業務提携です。noteと連動する視聴者投稿による新実験ドラマ「知らない人んち(仮)」を11月に放送しました。

また、eスポーツとして日本最大の高校生大会となるイベント「CoCa Cola STAGE:0 eSPORTS High-School Championship 2019」を8月に初開催しました。eスポーツにおける甲子園という位置づけで、競技のライブ配信、ドキュメント番組の放送など多角的な展開を行いました。

イベントホール事業にも新たに参画します。講談社とともに、池袋に来春設立されるイベントホールの運営に携わり、コンテンツの発信拠点とします。イベント、ネット配信、物販などで放送外収益の拡大を目指していきます。

私たちは、魅力あふれるコンテンツを様々な方法でお届けし、これからも視聴者の皆様に豊かな時間を提供いたします。今後も株主の皆様をはじめとするステークホルダーや視聴者の皆様のご信頼とご期待に応えてまいりますので、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。